

1 将来テーマについて

現計画将来テーマ：みんなではぐくむ（育む） 豊かな自然と活力あるまち
 新総合計画都市像：水と緑に生まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市（まち）

（案）

⇒ **【主題】豊かな自然①を 誰もがはぐくみ（育み）② 未来へつなぐ（繋ぐ）③まち**
【副題】～環境の恵み④を 享受し共生する⑤ ふるさと秦野を目指して～

- ①：都市と自然との調和を象徴的に表現しています。
- ②：共生や協働といった一人ひとりの行動姿勢を表現しています。
- ③：環境の保全と備え、循環による持続可能な形を表現しています。
- ④：環境全般を網羅的に表現しています。
- ⑤：環境の恩恵を「今の世代」が受けている様子を表現しています。

望ましい環境未来像にリンク

主題：今の積み重ねが未来の姿であり、その時々「今」の豊かさを追求した結果が「今日の姿」であることに鑑み、
 テーマの焦点は未来指向に置くべきと考えます。（＝「将来」テーマ）

副題：総論的な主題を補足説明しています。

2 計画体系項目及び数値目標について

環境未来像	
森・水・緑の環を守り、育み、生かすまち ～共生型社会の実現を目指して～	
基本施策	
森林や里地里山の保全再生と利活用	
1	分類
	1 森林の維持管理
	2 里地里山の維持管理、ふれあい空間の創出
基本施策	
地下水や里川の保全と利活用	
2	分類
	1 地下水の保全と利活用
	2 河川や地下水の浄化
基本施策	
農地の保全再生と活用	
3	分類
	1 都市農業の推進
	2 体験農業の支援と育成
基本施策	
生物多様性の保全再生と持続可能な利用	
4	分類
	1 動植物の分布の把握
	2 生息環境の保全と持続可能な利用
環境未来像	
地球環境の保全と変化への備えに地域から取り組むまち ～脱炭素型社会の実現を目指して～	
基本施策	
地球温暖化対策の推進	
1	分類
	1 二酸化炭素排出量の削減【緩和策】
	2 気候変動に対する取組の強化【適応策】
基本施策	
省エネルギー行動の促進及びエネルギー転換の検討	
2	分類
	1 省エネルギーを意識した行動の促進
	2 再生可能エネルギーの導入と活用の検討

数値目標 【上段：第2次計画／下段：第3次計画】	継続 設定	新総合 計画
⇒ ①水源の森林エリアにおける森林整備（奥山を除く）面積 達成	△	●
⇒ ②森林整備事業への市民参加数 達成	△	●
⇒ ①水源の森林エリアにおける森林整備（奥山を除く）面積（26.97ha→25ha）	●	●
⇒ ②森林セラピーイベントの参加者数【地域循環共生圏の構築[重点戦略①]】（147名→300名）		
⇒ ③地下水位（監視基準点） 未達成	△	●
⇒ ※④河川の水質基準達成率 未達成 →⑮	△	
⇒ ③監視基準点におけるテトラクロロエチレン濃度（条例達成目標値）（0.021mg/L→0.01mg/L）		
⇒ ④地産地消サポーター協力店数 達成	△	●
⇒ ④担い手への新たな農地集積面積（3.1ha→6.1ha）		●
⇒ ⑤生き物の里における活動回数 達成	△	
⇒ ⑤生物多様性の言葉と意味を認識する市民の割合（40.8%→50%） （根拠）アンケート結果：【認識度】知っている40.8%／意味は知らないが聞いたことはある36.5% 【必要性】非常に感じる23.1%／感じる51.8%		
⇒ ⑥平成42年度の市内二酸化炭素排出量平成25年度比で22.7%削減 未達成	△	
⇒ ⑥令和12年度の市内二酸化炭素排出量平成25年度比（国内外の情勢に応じた変更あり）（865t→669t）	●	
⇒ ⑦気候変動に伴う影響を理解し備えている市民の割合（気候変動への適応[重点戦略設定②]）（未→70%）		
⇒ ⑦バイオマスストーブ設置補助件数 事業終了	△	
⇒ ⑧市内における年間エネルギー消費量（6%減・数値算出中）		

環境未来像	
ごみの減量・資源の循環による環境負荷が小さいまち ～循環型社会の実現を目指して～	
基本施策	
3 R（発生抑制・再利用・再資源化）の推進	
分類	
3	1 1 廃棄物の発生と排出抑制
	2 再利用、資源化対策や生ごみの堆肥化の促進
	3 リサイクルシステムの構築と拠点整備
基本施策	
ごみの散乱防止と環境美化の推進	
分類	
2	1 ポイ捨てごみ及び不法投棄対策と廃棄物の適正処理
	2 美化活動の支援と促進、意識の啓発
環境未来像	
安全・安心・快適に暮らせるまち ～安全で快適な都市空間の実現を目指して～	
基本施策	
“うるおい”や“ゆとり”あるまちづくりの推進	
分類	
4	1 1 敷地内緑化の促進や公園・親水空間の整備
	2 計画的な土地利用による快適な都市整備の推進
	3 歴史や文化的遺産の継承
基本施策	
各種公害対策等の推進	
分類	
2	1 大気、水質（河川及び地下水）及び土壌の保全対策の推進
	2 騒音、振動及び悪臭等の防止対策の推進
	3 化学物質等の環境リスク低減対策の推進
環境未来像を支える事項	
協働で広げる多様な主体が輝く推進体制づくり	
基本施策	
学びの場づくりと環境に対する意識や行動の醸成	
分類	
5	1 1 環境教育の充実
	2 環境配慮行動の促進と多様な活動の支援
基本施策	
環境情報の効果的な活用と充実	
分類	
1	情報の収集・発信・共有の強化

	数値目標 ※上段：第2次計画／下段：第3次計画	継続 設定	新総合 計画
⇒	⑧市民一人1日当たりごみの排出量（資源物を除く）の減量 未達成	△	●
	⑨総ごみ排出量に占める資源化率 未達成	△	●
	⑨市民一人1日当たりごみの排出量（資源物を除く）の減量（___g→581g）	●	●

⇒	⑩不法投棄物の撤去量 達成	△	
	⑩担当課打診中（海洋／非プラスチックごみ関連）		

⇒	⑪公園美化ボランティア（里親制度）の団体 未達成	△	●
	⑫特別展の入場者 達成	△	
	⑬桜土手古墳展示館入館者 達成	△	
	⑪公園美化ボランティア（里親制度）の団体（48団体→57団体）		●

⇒	⑭大気環境基準の達成 未達成	△	
	⑮(④)河川環境基準達成率 未達成	△	
	⑯自動車騒音の評価区間 未達成	△	
	⑫河川水質について3つの指標（環境基準）の適合率（100%を維持）		●

⇒	⑰環境学習支援事業（エコスクール）の実施回数 達成	△	●
	⑬エコスクールのうち、企業編に参画する団体（6団体→9団体）		

⇒	⑱数値目標達成率※ 未達成	△	
	⑭SNSによる情報共有環境の整備（LINE@登録者200名）		

■数値目標数：18目標 ⇒ 14目標（既存⑫+重点②）

【参考】具体的取組について

- 新規の取組は、黄色識別+下線表記してあります。
- 所管課調整中、及び数値等算出中の項目は、空欄のまま表記してあります。

■具体的取組数：118取組 ⇒ 100取組（うち新規⑩）

資料2（環境未来像を実現する基本施策）のとおり